2012年　3月号

FILE!

OKAYAMA KENCHIKU SEKKEI CLUB

岡山市立芳田小学校にて学習指導

市立芳田小学校六年生が『理想の住まいを考えよう』をテーマに家庭科学習を行っていました。担当の先生より当クラブに、「建築士の方々より何かアドバイスがいただけないでしょうか？」とのお話があり、十二月十二日（月）から十六日（金）まで四回の授業に参加しました。

学校では「日当たり、明るさ、風通し」の三つの要素について学習し、最後の時間に「自分たちの考えた住まい」について、グループごとに発表することになっていて、そこで我々が少しアドバイスするといった内容のものでした。終わりに、正会員柴田さんの作成した設計図書、住宅模型をお借りして、生徒たちに説明し建築設計の魅力ある仕事についてお話をしました。皆さん集中して学習ができたように思います。初めての経験でしたが後日、学校より六年生全員のメッセージを頂き、感激しました。参加者は、赤木　定、大石雅弘、新谷雅之、長尾　悟、中桐慎治、森原通仁、和田洋子、赤木宏聡、岡田　貴、作本明彦、佐藤健治、中園克典、西山信司、横田亜都伯、と私の十五名でした。

事業委員長　於東　利夫

ヴィジョン委員会報告

ヴィジョン委員会では、昨年度からの継続審議になっておりました「ＪＩＡとの活動一体化に向けた検討」を、会員皆様と行って参りました。

委員会毎に、話し合いの場を設けて頂き、疑問に感じることなどを出して頂き、説明会を開催し、ＪＩＡの方からの御説明を頂きました。それを踏まえて会員皆様に賛否を頂きました。その結果を持って、ＯＫＣとＪＩＡで検討した結果、ご報告させて頂いたとおり、現状では、両者の活動一体化はしばらく見送ると言うことになりました。

今回の、検討は二年間という長期間になり、大変なご協力をいただきました。この検討が今後のＯＫＣ活動にとって、今まで以上に魅力溢れる活発な活動に繋がるのではないかと思います。

そして、今後はＪＩＡと一緒に活動できる機会が増えたり、関係団体との交流等も行っていけるようになればと思います。

非常に大切な内容の検討に対して、御協力頂きましたことを感謝申し上げます。

ヴィジョン委員長　中桐　慎治

編集後記

一年間、総務・広報委員会でＦＩＬＥの製作に携わらせて頂きありがとうございました。元々パソコン操作は得意とは言えず、至らない点が多々あったと思います。この場を借りてお詫び致します。何とかやってこれたのも前任の田中さん始め、委員会のメンバーに支えられたからこそと、感謝しています。ありがとうございました。

デフレ不況の中、日本経済は停滞気味ですが、ＯＫＣの活力はすばらしいものがあります。会員の皆さんの「絆」を大切に、岡山から日本に活力を注入して行きましょう。

総務・広報委員会　小畑誠一郎

住宅－日常の詩学展

2012年 4月 27日（金）－5月 20日（日）

10:00 ～ 18:00（入館は 17:30 まで）

※休館日　5月1日（火）・7日（月）・14日（月）

［入場料］
一般：　1,100円　（前売り 1,000円）
学生：　500円

※次の方は無料です
・中学生以下の方
・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を
ご持参の方（ならびにその付添の方1名まで）

［入場券発売所］
山陽新聞社サービスセンター、インディスク（天満屋倉敷店4階）
イーブラス、Fanl ポート

公開中も前売券を販売しております

岡山市デジタルミュージアム
4階企画展示室

［主催］
坂本一成建築展岡山実行委員会　岡山市デジタルミュージアム
［共催］
東京工業大学博物館
［助成］
(財) 福武教育文化振興財団
(財) マルセル・ブロッホ＝デーケン文化振興財団
(社) 日本建築学会中国支部
［協力］
建築資料研究社／日建学院、総合資格学院／株式会社総合資格
ＡＧＣ化成(株)、ハウジングプロ(株)、岡山ガス(株)
ＳＥＫＩＳＵＩ、トクミ運輸(株)
［後援］
(社) 岡山県建築士会、(社) 岡山県建築士事務所協会
岡山建築設計クラブ、(社) 日本建築学会、(社) 日本建築家協会
(社) インテリアプランナー協会、日本インテリアデザイナー協会
日本インテリアデザイン協会、ＮＨＫ岡山放送局、山陽新聞社
［実行委員会構成団体］
(社) 日本建築学会中国支部岡山支所、(社) 岡山県建築士会
(社) 岡山県建築士事務所協会
(社) 日本建築家協会中国支部岡山建築家の会
岡山建築設計クラブ

この一年を振り返って

ついこの間挨拶文を書いたのに…はや一年になるのですね。皆さまの暖かいご協力で、何とか無事に幕を下すことが出来そうです。

慌ただしい一年でした。例年の事業にプラスして二十五周年事業があり、今年度「おかやま建築５会＋１まちづくり協議会」が発足して防災イベントが開催され、また「坂本一成建築展」の準備等々で日々目まぐるしく過ぎて行きました。

ワンデーエクササイズでは講演の校正がままならず、報告書が遅れに遅れてはらはらする毎日でした。真夏のキッズスクール。暑さと慣れぬ労働でダウンしてしまいました。起き上がれない情けなさ。そうした中でも着々と皆さんの手でやり遂げられていく様子は、充実感と感謝でいっぱいでした。「ＪＩＡとの活動の一体化」については、皆さんのＯＫＣへの熱い思いがひしひしと伝わり、何度も寝られない夜を過ごしましたが今では思い出となりました。

昨年の３・11以来、多くの人たちが真実を見い出せない社会に苛立ち、不安を募らせそして諦めの日々を送っているように見えます。会員相互の信頼と情熱で、力いっぱい活動できる幸せを、これからも続けて行きたいものです。

一年間、皆さまのご協力・ご支援本当に有り難うございました。

代表幹事　山本 幸子

この一年を振り返って

二十五周年記念の一年を振り返り、改めてＯＫＣ会員のパワー、行動力、団結力を感じます。多くの活動を通してＯＫＣの目指す、社会貢献と自己研鑽ができたと思います。これも会員皆さまのご協力による賜物です。心より感謝申し上げます。私は副代表として皆様を支える立場でありながら、皆様に支えられた一年でした。申し訳ありません。皆様にはお世話になり、ありがとうございました。

副代表幹事　土田　利行

またＯＫＣ活動についても考えさせられる年でもありました。「ひとづくり」「まちづくり」をテーマに活動を行っていますが、それは取りも直さず「じぶんづくり」だと思うのです。この活動がどのような形であろうと、ますます和気あいあいと面白く、楽しく、いきいきと活動する会でありつづけることを願い、感謝のご報告といたします。

副代表幹事　赤木 定

この一年を振り返って

まずもって会員の皆様、一年間本当にご苦労様でした。「設計クラブが面白い！」のテーマで始まった二十五周年、京都建築見学会を皮切りにどれをとっても、内容の濃い数多くの事業が行われました。さらに他団体との合同事業も発足したり、難しい課題もあり、本当に大変な一年だったと思います。そんな中、率先して事業・企画に取組み、真剣に吟味し、二十五周年を無事に終えることができたのは、間違いなく会員の皆様のご苦労と努力の賜物だと断言します。振り返ると、大変でしたがとても面白い一年でした。皆様も面白く過ごせたのではないでしょうか。四半世紀という大きな節目となる年を皆様と一緒に過ごせたことに感謝、感謝です。

皆様、本当にありがとうございました。

副代表幹事　土田　利行

この一年を振り返って

「二十五周年という大事な年」「どこまで出来るか」というのが当初の自分でした。東日本大震災をはじめ日本という国が大きく変化しそうな雰囲気中、ＯＫＣの活動も様々な方向性が模索された一年だったと思います。その中、「赤木さん　おもしろい、楽しい一年間にしましょうね。」山本代表の言葉が思い出されます。この言葉がなければ「ここまで出来なかった」かもしれません。支えあってのＯＫＣ、その力と魅力は全ての二十五周年事業に見事に発揮されたと思います。事業だけでなく飲み会もありました。どこまで飲みたいのと言われそうですが、これもＯＫＣのあるべき姿のひとつと思います。多くの皆様が参加して下さったから、より良いものが出来た一年間と感じています。

最後に、正会員の皆様、本年度も様々な場面で賛助会会員に暖かい心配りをしていただきましたこと心より感謝申し上げます。また、賛助会の皆様も、忙しい中でも笑顔とともにご参加いただきありがとうございました。そして山田前幹事長さん本当にお世話になりました。大島新幹事長頑張ってください。皆様本当にありがとうございました。

賛助会幹事長　赤木 宏聡